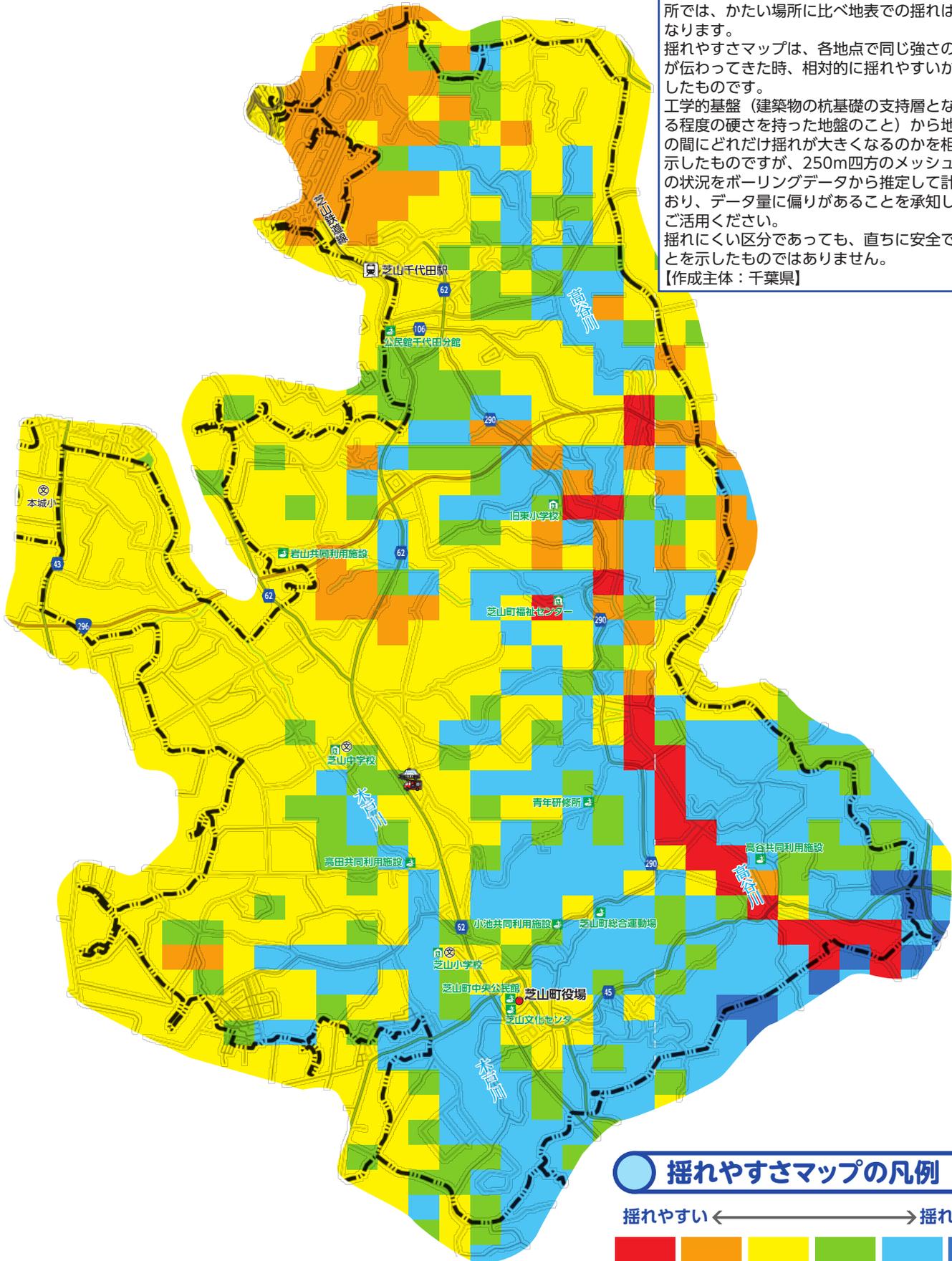


揺れやすさマップ



縮尺 1:50,000

0 500 1000 1500 2000m



地震による地表の揺れは、「地震の規模（マグニチュード）」、「震源からの距離」、「表層地盤」の3つの条件により違いが現れます。一般的に、マグニチュードが大きいほど、また震源から近いほど地震による揺れは強くなりますが、地表地盤の状況によっても左右され、地表地盤がやわらかい場所では、かたい場所に比べ地表での揺れは大きくなります。

揺れやすさマップは、各地点で同じ強さの地震動が伝わってきた時、相対的に揺れやすいかを図化したものです。

工学的基盤（建築物の杭基礎の支持層となる、ある程度の硬さを持った地盤のこと）から地表までの間にどれだけ揺れが大きくなるのかを相対的に示したのですが、250m四方のメッシュの地盤の状況をボーリングデータから推定して計算しており、データ量に偏りがあることを承知した上で、ご活用ください。

揺れにくい区分であっても、直ちに安全であることを示したものではありません。

【作成主体：千葉県】

揺れやすさマップの凡例

揺れやすい ← → 揺れにくい